

 山口県総合芸術文化祭 2025

第47回 山口県高等学校総合文化祭



全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向 川 栄 美 作 詞
乗 松 美 紀 作 曲

1. てをのば せば ほ ら き っ と だ れ か が さ さ え て く れ る
2. よびかけ れば ほ ら き っ と だ れ か が こ た え て く れ る

みーわ たせー ば ほ ら な か ま が い つ で も そ ば に い る き み
こころ をひらけ ば ほ ら な か ま は い つ で も ま っ て い る き み

は ひ と り じ ゃ な い さ あ あ は き だ そ う
は ひ と り じ ゃ な い さ あ あ は ば た そ う

ぼくら のぶんか を つく る た め ー に
ぼくら のぶんか を つき ず る た め ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きつと誰かが支えてくれる
見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きつと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔はばたこう

僕等の文化を築くために



山口県総合芸術文化祭 2025

第47回 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式 プログラム

式典・慶祝公演	6月12日	13:30~15:50
慶祝展示	6月12日、13日	9:00~17:00
	6月14日	9:00~16:00

期 日	令和7年6月12日（木）
会 場	下 関 市 民 会 館
主 催	山口県・山口県教育委員会 山口県高等学校文化連盟
共 催	下関市・下関市教育委員会
後 援	山口県中学校文化連盟
主管校	山口県立長府高等学校

あいさつ

山口県教育委員会 教育長 繁 吉 健 志



「未来へつなぐ創造の輪～私たちの文化が輝く瞬間～」のテーマのもと、第47回山口県高等学校総合文化祭が、下関市民会館を主会場として盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

生徒の皆さんは、本総合文化祭に向けて、日々努力を重ね、作品やパフォーマンスを作り上げてこられたことと思います。この晴れの舞台で、皆さん一人ひとりが主役となって、普段の練習の成果を存分に発揮されるとともに、相互に交流を深めながら感動を共有し、創造活動の一層の向上が図られることを願っています。

さて、県教育委員会では、本県教育の指針である山口県教育基本計画において、「文化にふれあい親しむ環境づくりの推進」を施策の一つに掲げ、次代を担う皆さんが豊かな感性や創造力を育むため、県総合文化祭など文化芸術活動を発表するための場づくりや、学校現場で優れた芸術にふれあう機会の提供などに努めているところです。

こうした中、令和10年度には、本県において、第52回全国高等学校総合文化祭が開催されます。県教育委員会では、この大会を、大会基本方針に掲げる、全国の仲間の声が響きあい、「ときめき」に満ちて、新たな出会いの「かけはし」や、新しい文化の「はじまり」となる、そうした大会にできるよう、皆さんと一緒に準備を進めたいと考えています。

ぜひ皆さんには、様々な機会を活用して文化芸術活動に主体的に取り組むことで、開催に向けた機運を高めていただくとともに、今年度、生徒準備委員会と企画・実施する大会PRのための「1000日前イベント」など、これから本格化していく開催準備にも、積極的に関わっていただくようお願いします。

結びに、本総合文化祭の開催に当たり、格別の御支援・御協力をいただきました地元下関市、下関市教育委員会をはじめ、関係各位に対しまして、厚くお礼を申し上げますとともに、本総合文化祭の盛会と山口県高等学校文化連盟のますますの御発展を祈念いたしまして、御挨拶といたします。

あいさつ

山口県高等学校文化連盟 会長 山 田 芳 彦



県下各地の高校生が織りなす文化の祭典「第47回山口県高等学校総合文化祭」の総合開会式が、この海峡と歴史のまち、下関市で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。本州最西端に位置し、古来より人や物が行き交う交流都市として栄えたこの地で、高校生たちの文化・芸術活動の幅がさらに広がることを心から願っています。

今大会のテーマは「未来へつなぐ創造の輪～私たちの文化が輝く瞬間～」です。このテーマにふさわしく、高校生が、みずみずしい感性で自分らしい表現を創造し、未来への文化の担い手として成長してくれることを期待しています。

今年度は、吟詠剣詩舞部門と弁論部門も新たに加わり、5月の将棋部門、小倉百人一首かるた部門の大会をスタートに、各部門別の大会や発表会が県内各地で開催されます。日々のたゆまない努力の成果が十分に発揮され、この総合文化祭を通じて、友情の輪が広がり、文化への関心を深める貴重な機会となることを願っています。

また、7月には第49回全国高等学校総合文化祭が香川県で開催される予定です。本県の生徒たちが、日頃の活動で培われた力を十分に発揮し、その集大成としてそれぞれの部門で一層の活躍をしてくれることを期待しています。

最後に、本総合文化祭の開催に当たり、御支援を賜りました山口県、山口県教育委員会、地元下関市、下関市教育委員会をはじめ、準備運営に多大な御尽力をいただきました長府高等学校をはじめ、下関地区の関係各校に心から感謝を申し上げまして御挨拶といたします。

あいさつ

下関市長 前 田 晋太郎



第47回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、ここ下関市におきまして盛大に開催できますことを心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから文化芸術活動に取り組まれている皆さんを、この「海峡と歴史のまち」下関市にお迎えできますことを市民一同、とても嬉しく思っております。

本市は三方を海に囲まれ、壇ノ浦の合戦や巖流島の決闘、幕末維新など、またお寿司の屋台で人気の唐戸市場や本州と九州に挟まれた関門海峡、そしてエメラルドグリーンの海に架かる角島大橋など、皆さんもきっとご存じの観光スポットや壮大な景観に恵まれており、全国各地から多くの方にお越しいただいております。

今回の大会テーマは「未来へつなぐ創造の輪～私たちの文化が輝く瞬間～」であります。本総合文化祭にご参加の皆様お一人お一人が、これまで努力してきた成果を存分に発揮されるとともに、未来へ向けて羽ばたくきっかけとなることを切に願っております。そして、今回の総合文化祭を高校生活の集大成とされている方にとりましては、悔いなく、そしていつまでも思い出に残るような文化祭になれば幸いです。

また、県内で同じ部門に取り組む生徒が一堂に会する貴重な機会でもあります。これをきっかけに交流をより深めていただき、取り組まれている芸術・文化活動がさらに充実したものとなることを大いに期待しております。

結びに、本文化祭の開催にあたり多大なるご尽力を賜りました山口県、山口県教育委員会、山口県高等学校文化連盟の皆様をはじめ、運営にご支援いただく皆様に感謝を申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

あいさつ

山口県立長府高等学校 生徒会長 中 村 美 香



未来へつなぐ創造の輪～私たちの文化が輝く瞬間～というテーマのもと、本年度は下関市において、第47回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式が開催されますことを、大変うれしく思います。

本州の最西端に位置する下関市は、古代から近代に至るまで数多くの歴史の舞台となった場所であり、ふぐをはじめとする海産物の食文化や、港町ならではの生活文化が色濃く残る街です。市内には、壇之浦古戦場跡（みもすそ川公園）、赤間神宮、旧下関英国領事館などの歴史的な観光名所が今も数多く残されています。また、ふぐ料理で有名な唐戸市場や、関門橋から見渡す雄大な関門海峡では、下関ならではの文化と自然の魅力を存分に味わうことができます。さらに、城下町長府時代まつりや数方庭祭など、歴史を体感できる伝統行事も継承されており、こうした文化や風景が今なお私たちの暮らしに息づいています。この機会にぜひ街を散策し、歴史情緒あふれる風景に触れてみてください。

本日から始まる文化祭に参加される皆さんは、日頃より先生方の熱心なご指導のもと、仲間とともに活動を重ね、技を磨いてこられたことと思います。その努力の結晶とも言えるパフォーマンスを、楽しみながら存分に発揮されることを願っています。また、他校の生徒との交流を通じて、多様なアイデアや、これまで自分にはなかった新たな視点を見つけることで、「創造の輪」をさらに広げていってください。

最後に、この文化祭が皆さん一人ひとりの文化が輝く瞬間となることを心より祈念し、挨拶とさせていただきます。私たちの文化を未来へとつなげていくため、本文化祭を共に創り上げてまいりましょう。

次 第

1 式 典 (13:30-14:20)

- ◇開会宣言 山口県立長府高等学校 3年 並 知宏
- ◇ファンファーレ 「壇の浦」に寄せる哀愁的なファンファーレ
“HEIKE” ～打楽器と3群の金管楽器による～
作曲 檜原 弘 (山口県立豊浦高等学校)
【演奏】下関地区高等学校吹奏楽団
〈指揮〉西 将史 (山口県立下関中等教育学校)

- ◇主催者挨拶 山口県高等学校文化連盟会長 山田 芳彦
山口県教育委員会教育長 繁吉 健志
山口県立長府高等学校 生徒会長 中村 美香

- ◇歓迎の言葉 下関市長 前田 晋太郎

- ◇来賓紹介

- ◇表 彰 [優秀芸術文化賞] 山口県立山口高等学校管弦楽部
山口県立防府西高等学校吹奏楽部
[功 績 賞] 山口県立下関南高等学校 教諭 秋本 隆
[テーマ最優秀賞] 山口県立岩国商業高等学校 3年 山根 百華

- ◇専門部紹介

(BGM『全国高文連のうた』:CD)

○演劇○合唱○吹奏楽○器楽・管弦楽
○日本音楽○吟詠剣詩舞○郷土芸能
○マーチングバンド・パトントワリング○美術・工芸
○書道○写真○放送○囲碁○将棋○弁論
○小倉百人一首かるた○新聞○文芸○自然科学
(以上19部門)

2 慶祝公演 (14:35-15:50)

- ◇日本音楽 螺鈿 作曲 沢井 忠夫
【演奏】下関短期大学付属高等学校箏曲部

- ◇マーチング サモン・ザ・ヒーロー 作曲 J. ウィリアムズ
浪漫飛行 作曲 米米CLUB
【演奏】山口県立長府高等学校吹奏楽部

◇合唱	惑星そぞろ	作詞 野木亜紀子 作曲 名田 綾子
	カンタータ「土の歌」より“大地讃頌”	作詞 大木 惇夫 作曲 佐藤 眞
		【演奏】山口県高等学校合唱団
		〈指揮〉田中 睦（野田学園高等学校）
		〈伴奏〉山城 麻衣
◇演劇	COCO(ココ)	作 井上 幸助
		【上演】下関市高等学校合同劇団
◇吹奏楽	吹奏楽のための詩曲《幻影》～中原中也によせて～	作曲 檜原 弘（山口県立豊浦高等学校）
		【演奏】下関地区高等学校吹奏楽団
		〈指揮〉松井 友介（早鞆高等学校）
◇器楽・管弦楽	交響詩「フィンランディア」	作曲 J. シベリウス
		【演奏】山口県高等学校管弦楽団
		〈指揮〉井ノ上 拓郎（山口県立長府高等学校）
◇全員合唱	翼をください	作詞 山上 路夫 作曲 村井 邦彦
		編曲 佐々木 真一（山口県立岩国高等学校）
		【演奏】山口県高等学校管弦楽団・合唱団
		〈指揮〉井ノ上 拓郎（山口県立長府高等学校）

3 山口県高等学校文化連盟表彰受賞者

（１）優秀芸術文化賞

山口県立山口高等学校管弦楽部

令和6年10月26日に福島県郡山市けんしん郡山文化センターで開催された、第13回日本学校合奏コンクール2024全国大会グランドコンテストにおいて高等学校の部最優秀・福島県教育長賞の成績を収めた。

山口県立防府西高等学校吹奏楽部

令和6年10月26日に福島県郡山市けんしん郡山文化センターで開催された、第13回日本学校合奏コンクール2024全国大会グランドコンテストにおいて高等学校の部最優秀・郡山市長賞の成績を収めた。

（２）功績賞

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽専門部 前理事長 秋本 隆

平成28年4月から令和6年3月まで4期8年に渡り、器楽・管弦楽専門部理事長として本県高等学校文化活動の発展に寄与した。

（３）テーマ最優秀賞

山口県立岩国商業高等学校 3年 山根 百華

「未来へつなぐ創造の輪～私たちの文化が輝く瞬間～」

4 慶祝公演出演校

〔下関市高等学校合同劇団〕

長府高等学校 下関商業高等学校 下関中等教育学校 梅光学院中学校・高等学校

〔山口県高等学校合唱団〕

岩国高等学校 防府高等学校 山口高等学校 山口中央高等学校 宇部中央高等学校 萩高等学校

野田学園高等学校 萩光塩学院高等学校

〔下関地区高等学校吹奏楽団〕

豊浦高等学校 下関西高等学校 下関工科高等学校 下関商業高等学校 早鞆高等学校

〔山口県高等学校管弦楽団〕

柳井高等学校 防府高等学校 山口高等学校 山口中央高等学校 下関南高等学校 下関中等教育学校

5 慶祝展示 6月12日(木)、13日(金) 9:00~17:00

6月14日(土) 9:00~16:00

出品者及び出品校一覧

出品校		出品者	題 名
《美術・工芸》			
豊浦高等学校	3年	下田 和鈴	rouge
豊浦高等学校	3年	西村 実夢	fantasy
豊浦高等学校	3年	岡崎 未実	緑
豊浦高等学校	2年	宮田 日那子	奇 跡
豊浦高等学校	1年	田中 千晴	出発点
長府高等学校	3年	園部 心美	クラゲの世界
長府高等学校	2年	室重 佳凜	蛸
長府高等学校	2年	栗谷 裕貴奈	ふたりのセーブデータ
長府高等学校	卒業生	岩本 将	句句廼馳ノ劍
下関南高等学校	3年	横見 真央	今だけは
下関南高等学校	3年	加藤 つほみ	ここは僕のテリトリー
下関南高等学校	2年	星川 凜太郎	海を見つめてひと休み
下関北高等学校	2年	白石 蒼依	人 魚
下関中等教育学校	3年	栢 眞心	寂れた赤い橋
下関中等教育学校	3年	丸岡 未弥	Biotope
《書 道》			
長府高等高校	3年	村枝 愛海	臨 張瑞図李白詩
長府高等学校	3年	川村 穂那美	臨 呉昌碩石鼓文
下関西高等学校	3年	河野 夢叶	臨 魏靈藏造像記
下関西高等学校	3年	伊藤 千沙都	臨 光明皇后楽毅論
下関西高等学校	2年	澄川 遥人	臨 九成宮醴泉銘
下関南高等学校	2年	末光 瑠羽香	臨 関戸本古今和歌集
下関南高等学校	3年	丸山 莉央	臨 書譜
下関南高等学校	3年	前田 美和	臨 祭姪文稿
下関中等教育学校	2年	品川 圭佑	臨 顔氏家廟碑
下関中等教育学校	2年	牛見 夏渚	臨 孫秋生造像記
下関中等教育学校	2年	柏木 向佳理	臨 張猛龍碑
下関商業高等学校	3年	栲原 由衣	臨 爨宝子碑
下関商業高等学校	3年	藤井 未來	臨 書譜
下関商業高等学校	2年	市來 昊樹	臨 九成宮醴泉銘
早鞆高等学校	3年	徳永 紗希	臨 禮器碑
《写 真》			
防府高等学校	2年	山本 帆乃香	テスト終了☆
防府高等学校	2年	内田 陽斗	静 寂
防府高等学校	2年	原田 紗季	キ 跡
防府高等学校	2年	澁川 千春	一筋の光
防府高等学校	2年	中司 愛深	光の脆さ

《演 劇》	大会風景
《放 送》	大会風景
《囲 碁》	大会風景
《将 棋》	大会風景
《小倉百人一首かるた》	大会風景
《文 芸》	大会風景・文芸誌
《自然科学》	大会風景
《吟詠剣詩舞》	大会風景

各 部 門 開 催 日 程 及 び 会 場

◇将棋部門	5月24日（土）・25日（日）	周南市徳山保健センター
◇小倉百人一首かるた部門	5月25日（日）	小野田高等学校
◇音楽4部門（合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、マーチングバンド・バトントワリング）	6月13日（金）・14日（土）	下関市民会館
◇日本音楽・郷土芸能・吟詠剣詩舞部門	6月14日（土）	下関市菊川ふれあい会館 （アブニール）
◇文芸部門	10月10日（金）	下松高等学校
◇囲碁部門	10月19日（日）	徳山高等学校
◇演劇部門	10月25日（土）・26日（日）	不二輸送機ホール
◇放送部門	11月 1日（土）	山口県健康づくりセンター
◇写真部門	11月 7日（金）～ 9日（日）	防府市地域交流センター （アスピラート）
◇美術・工芸部門	11月 7日（金）～ 9日（日）	シンフォニア岩国 山口県民文化ホールいわくに
◇書道部門	11月 8日（土）・9日（日）	おのだサンパーク
◇弁論部門	12月中旬（予定）	徳山高等学校

表紙原画：長府高等学校 3年 下野 真碧
表紙題字：長府高等学校 卒業生 村上 遥夏
裏表紙絵：長府高等学校 2年 白石 優陸

令和7年度 山口県高等学校文化連盟役員

職 名	氏 名	支部・専門部	所 属 校
会 副 会 長	山 田 芳 彦 浅 原 正 和 縄 田 功 晋 廣 川 晋		山口中央高校 徳山高校 宇部高校 聖光高校
参 与 長	梅 田 憲 和		山口高校
支 部 長	大 田 真 一 郎 松 本 剛 和 浅 原 正 康 一 郎 大 縄 功 弘 内 田 正 泰 之 山 本 泰 之	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇部支部 下関支部 長北支部	岩国高校 柳井高校 徳山高校 防府高校 宇部高校 下関西高校 萩高校
専 門 部 会 長	中 村 直 樹 山 本 直 泰 縄 本 剛 晋 松 本 川 勇 廣 吉 村 孝 浩 廣 川 晋 治 原 田 孝 美 代 小 濱 村 和 幸 宮 川 幸 隆 古 川 正 治 廣 田 正 和 浅 原 正 康 一 郎 大 浅 原 正 和 山 本 正 德 子 縄 本 功 志 柴 崎 大 憲 和 梅 田 大 憲 和	演劇部門 合唱部門 吹奏楽部門 器楽・管弦楽部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 郷土芸能部門 マーチングバンド・バトントワリング部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 放送部門 囲碁部門 将棋部門 弁論部門 小倉百人一首かるた部門 新聞部門 文芸部門 自然科学部門	光高校 萩高校 宇部高校 柳井高校 聖光高校 下関中等教育学校 聖光高校 山口県鴻城高校 サビエル高校 美祢青嶺高校 西京高校 山口農業高校 徳山高校 防府高校 徳山高校 小野田高校 宇部高校 下松高校 山口高校
専 門 部 理 事 長	石 田 千 晶 久 野 千 輝 中 村 亮 宮 本 敬 司 山 中 文 山 中 文 山 中 文 内 田 良 一 友 廣 洋 子 鏡 証 子 尾 崎 勝 利 藤 山 正 和 齊 藤 和 禎 山 下 希 紀 福 田 美 紀 小 田 健 太 大 野 綾 香 古 谷 志 都 入 江 壽 朗	演劇部門 合唱部門 吹奏楽部門 器楽・管弦楽部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 郷土芸能部門 マーチングバンド・バトントワリング部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 放送部門 囲碁部門 将棋部門 弁論部門 小倉百人一首かるた部門 新聞部門 文芸部門 自然科学部門	光高校 萩高校 宇部高校 柳井高校 聖光高校 下関中等教育学校 聖光高校 山口県鴻城高校 サビエル高校 美祢青嶺高校 西京高校 山口農業高校 徳山高校 防府高校 徳山高校 小野田高校 宇部高校 下松高校 山口高校
監 事	久 保 田 力 哉 古 川 幸 隆		防府商工高校 西京高校
事 務 局 長	上 田 憲 明		山口中央高校
事 務 局 次 長	田 村 早 紀		山口中央高校
事 務 局 員 (総務)	河 本 展 子		山口中央高校
事 務 局 員 (会計)	山 本 直 美		山口中央高校
事 務 局 員 (庶務)	丸 山 智 子		嘱託

専門部紹介

〔演劇〕

演劇専門部は、上演部門、生徒講評部門の2つの部門があり、8月の4地区大会、10月末の県大会で、12月の中国大会への推薦校2校、優秀生徒講評委員2名を選びます。翌年夏に行われる全国総文祭は、中国大会の最優秀賞1校のみが出場権を得ます。昨年度は、下関中等が生徒創作『レベル1の勇者』で、中国代表として全国総文祭に出場し、全国の演劇部の範となる学校に与えられる内木文英賞を受賞しました。



下関中等の活躍に刺激を受けた県内の演劇部員は、「フレッシュな感覚で今を切り取った秀作の数々」と審査員の先生に言わしめる作品を県大会で披露しました。激戦の県大会を制したのは、2006年に前身の防府商業が受賞して以来18年ぶりの防府商工と2013年以来11年ぶりの宇部中央で、防府商工はベスト4の優秀賞を受賞しました。

今年度の県大会は10月25・26日、不二輸送機ホールで行われます。成長著しい山口県の演劇部の上演を御覧頂けますと幸いです。

〔合唱〕

「未来へつなぐ創造の輪～私たちの文化が輝く瞬間～」のテーマのもと、私たち合唱部門は総合開会式に山口県高等学校合唱団として参加します。本日の演奏のために、各校で練習を重ねてきました。普段、少人数で活動している学校も少なくありません。また、コロナ禍で歌うことや合唱への制限があり、コロナ禍が明けてからも合唱人口の減少が叫ばれていますが、今日は県内の合唱仲間と大人数で歌え、さらにはオーケストラと共演できる貴重な機会です。日ごろの練習の成果を十分に発揮して、会場の皆さんに素敵なハーモニーを届けたいと思います。



夏に開催される全国総合文化祭には、防府高校が参加する予定です。この大会を通して、全国の合唱仲間との交流を深め、輪を広げていってほしいと願っています。

〔吹奏楽〕

県内はもちろん、全国的にも加盟校・加盟者数が最も多いのは吹奏楽部門です。その活動は多岐にわたりますが、いずれの団体も大きく二つの目標を持って取り組んでいます。



一つは、年間を通して行われる各種大会で悔いのない演奏をし、目標とする「記録」に向かって精進すること。もう一つは、吹奏楽を愛してくださるお客様と時間を共有し、お客様の「記憶」に残る演奏を奏でられるよう努力を重ねることです。

これら日々の活動の成果を発表する場である「山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会」には、昨年度42団体・1,116名の生徒が参加しました。今年度も、仲間の演奏を聴き合い、称え合えることを楽しみにしています。また、香川県高松市で開催される「かがわ総文祭2025」に、山口県代表として岩国高等学校が出場する予定です。悔いのない、素晴らしい演奏を披露してくれることを期待しています。

〔器楽・管弦楽〕

この部門には、ギター・マンドリン合奏や弦楽合奏そして管弦楽活動を部活動としている各高等学校と中等教育学校の計7校が参加しています。

本専門部の活動としては、この総合文化祭での合同オーケストラによる慶祝演奏や各校の発表の他に、毎年3月下旬に「器楽・管弦楽スプリングコンサート」を独自に開催しています。昨年度は、山口市民会館にて、山口中央高等学校が主管校となり開催しました。今年度は、サンビームやないで柳井高等学校が主管校となり開催する予定です。



また全国高等学校総合文化祭へも毎年参加しており、昨年度は山口中央高等学校オーケストラ部が第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」に参加し、心のこもった素晴らしい演奏を披露してくれました。各県を代表する中で、山口中央高等学校の演奏はとても印象深く、改めて山口県の器楽・管弦楽部門のレベルの高さを認識した次第でした。

今年度香川県で開催される全国総文祭へは、山口高等学校管弦楽部が参加する予定です。晴れの舞台で素晴らしい演奏を披露してくれることを大いに期待しています。

〔日本音楽〕〔郷土芸能〕

日本音楽・郷土芸能部門は、箏曲・創作太鼓・郷土芸能で構成されており、現在 15 校が活動しています。日本の伝統文化そして和楽器の素晴らしさを実感しながら、その後継の一端を担っているという誇りを持って日々練習に励んでいます。一言で「日本音楽」と言っても、古典曲から現代のポップス、ダイナミックな太鼓演奏まで、演奏曲目は様々です。箏や三味線の美しい音色、そして胸を打つ太鼓の響きに、高校生の若い感性とひたむきさを感じていただけるように懸命に練習に励んでいます。今年度は、専門部初の試みで、吟詠剣詩舞部門も合同での発表会を予定しています。また、香川大会では、下関短期大学付属高等学校箏曲部が本日総合開会式でも披露をする沢井忠夫作曲「螺(ら) 鉦(でん)」を演奏する予定となっていますので、ご支援よろしくお祈いします。



〔吟詠剣詩舞〕

昨年度から吟詠剣詩舞部門は令和 10 年度の山口県全国高等学校総合文化祭に向け活動を再開しました。

本部門の吟詠剣詩舞は、全国高等学校総合文化祭においては第一回の開催当時から連綿と続いている、歴史ある日本の伝統芸能を引き継ぐ部門の一つです。漢詩や和歌に描かれた情景や心情を、独特の節をつけて吟じる（歌う）「吟詠」や、吟詠に合わせて扇子を用いて優雅に舞う「詩舞」、日本刀を用いて力強く踊る「剣舞」。主にこの 3 つの総称を吟詠剣詩舞といいます。吟詠に合わせて書道を行う「書道吟」や花を生ける「華道吟」などの分野もあり、伝統文化に親しむ生徒たちによって今なお盛んに活動が行われています。



今年度は下関地区と柳井地区の生徒たちが中心となり、生徒を含めた活動が再開されます。山口県総合文化祭を日本音楽・郷土芸能部門と協同開催する他、かがわ総文祭 2025 にも参加予定です。どのような大会になるのか、期待が高まります。

〔マーチングバンド・バトントワリング〕

マーチングとは行進をすることで、マーチング・バンドとは、吹奏楽活動の中のひとつの演奏形態として、演奏をしながら、その演奏曲の曲想に合った動きを加えたもので、音楽と動きの調和がとれていることが望まれます。マーチングで使用する楽器は多彩でマーチング専用の楽器などもあります。また、カラーガードというフラッグ（旗）をもって演技するパートもあり、音楽に合わせた演技は大変見応えがあります。吹奏楽にない視覚的な表現が多彩な所がこの形態の魅力であります。



バトントワリングとは、棒状の手具（バトン）を回転させる（トワーリング）という意味をもち、バトンの操作と身体の動きを音楽に合わせて組み合わせる、芸術性の高いスポーツとして、発展を重ねています。操作方法は現在数百種類あり、音楽に合わせたバトンの演技は大変魅了されます。

現在山口県で活動する県内団体は年々減少しておりますが、年一度の研修会を継続して行い、県内での活動促進を図っています。また、現在は全国高等学校総合文化祭への参加も滞っていますが、山口県から再度全国総合文化祭への参加団体が出てくることを目指し、種々の活動を積極的に行っていきたいと思ひます。

〔美術・工芸〕

美術・工芸部門の活動には、多様な表現活動があります。絵画、版画、デザイン、工芸、彫刻、映像の各分野で、色々な素材や画材でさまざまな表現手法を駆使した作品を創造・制作しています。例年、秋には県大会となる美術・工芸部門の作品展を、県内 5 つの地区のローテーションで開催しており、今年度は 11 月 7 日（金）～ 9 日（日）の期間、シンフォニア岩国で開催します。毎年、県内各校の美術・工芸に類する部活動から 100 点を超える力作が集う、ハイレベルな展覧会となっています。作品の多くが一辺 1 m を超えるような大作で、制作者のユニークな発想や構想を通じて、それぞれの思いがしっかりと伝わるものばかりです。会場に展示された作品をご鑑賞いただき、そこに込められた制作者それぞれの表現へのこだわりや情熱、苦勞の痕跡をご堪能ください。また、展覧会ではお互いの作品を鑑賞し、交流と親睦を深め、創造の喜びを共感していただければと思います。



〔書 道〕

書道部門の総合文化祭は、11月におのだサンパークにて開催されます。この時の審査で最優秀賞を受賞した3点を、次年度夏に行われる全国高等学校総合文化祭秋田大会へ推薦します。会期中の講評会では、審査員がアドバイスをしたり、出品者が制作中の思いを話したりし、参加者全員でしっかりと鑑賞します。

また、この総合文化祭に向けて、9月に生徒研修会を実施します。生徒研修会では、自分の作品鑑成だけでなく、参加者みんなで共同作品の制作もします。

書道は、個人活動のイメージが強いかもしれませんが、個人作品も共同作品も、多くの作品を見たり、多くの人の考えを聞いたりすることでより良い作品が完成します。ぜひ、県内高校生の力作を楽しんでください！



〔写 真〕

写真専門部の活動の中で最も重要なものは、山口県高等学校総合文化祭での写真作品の展示です。この展示作品に対して審査が行われ、その結果により、次年度夏の全国高等学校総合文化祭への出品作品が決定します。文化祭での作品審査や、講評会と写真研修会の講師を日本写真家協会会員のプロカメラマンに依頼しております。この講評会と研修会において参加生徒はレベルの高いアドバイスや指導を直接受けることができます。今後も、できる限り、山口県の高校写真部のレベル向上を目指した取り組みを続けていきたいと思います。



〔放 送〕

放送部は、アナウンスや朗読原稿を読むことに加えて、ラジオやテレビのドキュメンタリー、ドラマの制作を行っています。取材の中で味わった感動をしっかりと伝えられるよう、発声・活舌練習をし、インタビュー能力、映像・音声の編集技術向上のため、日々、地道な努力を重ねています。

コロナ禍がきっかけで、学校の垣根を越えた交流の機会が失われてしまいました。しかし最近では、コロナ禍を機にスタートしたオンライン研修会の回数を増やしたり、さらに実際に集まる機会も復活し、以前にも増して学校間での交流の機会は増えました。お互いライバルとして切磋琢磨すると同時に、仲間としてたくさんの感動を分け合えるよう、これからも頑張っています。



めざましいメディアの発達により、幼いころから様々な表現に囲まれてきた現代の高校生は、表現者としても無限の可能性を秘めています。多くの仲間に、自分の表現で感動を伝えませんか？ あなたの参加を待っています。

〔囲 碁〕

例年、囲碁部門の県大会は、10月に行われ、段級位認定戦と代表決定戦とに分かれています。段級位認定戦では、成績に応じて段や級の認定状を取得でき、代表決定戦では中国大会と全国大会の代表を決定します。中国大会には、男女団体に各1校、男子個人戦・女子個人戦ともに6名まで出場できます。今年の中国大会は、12月に広島県で開催されます。また、全国大会には、男女混成の団体戦に3名、男・女個人戦に各1名、計5名の生徒が県代表として出場することになります。今年の県大会では、来年の8月に秋田県で行われる全国大会の代表を決定します。



囲碁は世界的にも愛好家が増えており、各種のボードゲームの中でも優れた知的ゲーム、頭脳のスポーツです。初心者でも高校の2年あまりで段位を取得するまでになることができ、中国大会や全国大会の代表になることもできます。初心者の方もどうぞ各学校の囲碁部に入部してください。また、囲碁部のない学校からも大会に参加することはできるので、気軽に大会に参加してみてください。

〔将 棋〕

棋専門部では、毎年5月に山口県高等学校総合文化祭の将棋部門大会、11月に新人大会および研修会を開催しています。

昨年度山口県高等学校総合文化祭では、全国大会出場を目指して、県内から100名近くの選手が大会に出場しました。静寂に包まれた会場で、短い持ち時間の中、対局者どうしが盤上で向かい合い、熱戦を繰り広げました。全国大会に出場した選手の中には、予選を勝ち抜き、決勝トーナメントまで駒を進めた選手もいました。また、自由対局会場では、山口県の選手どうしで始めた「7秒将棋対決」が他県の選手の興味を引き、「僕も対局させてもらって良いですか？」と声をかけていただく一幕がありました。



新人大会および研修会では、ICTを利用して決勝戦の中継を行いました。盤面をリアルタイムで研修会場に表示して、審判による研修会を実施しました。研修会では、学校の枠を超えて、選手どうしで最善手を検討する姿が見られました。

〔弁論〕

弁論部門は全国高校総文において、日頃抱いている思いや社会問題について、7分間で聴衆にいかに訴えかけることができるかということを競う、発表競技です。2028年の全国高校総文山口大会の開催内定を受け、昨年度専門部が発足しました。今年度から、いよいよ県大会が行われます。

弁論部門に出場する「弁士」は、必ずしも「弁論部」の部員に限りません。昨年度の全国高校総文での弁論内容は、他の部活動や校外のさまざまな活動での経験をもとにしたものでした。中には、全国高校総文に出場したあとインターハイにも出場するという、運動部員の「弁士」もいました。つまり、参加の門戸が多くの人に開かれた部門ということです。

8月中旬には周知も兼ねて研修会を行い、県内に広く案内します。そののち、12月中旬に県大会を行い、来年度の秋田総文への県代表弁士2名（1校1名）を選出する予定です。研修会・県大会の会場はいずれも徳山高校です。

〔小倉百人一首かるた〕

近年、競技かるたの人気の全国的に高まっており、山口県でも競技かるた選手が増加し、小倉百人一首かるた部門の活動の幅も広がっています。

かるた競技は、「畳の上の格闘技」と言われています。静寂と美しい日本語の調べの中で自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断をしながら、長時間の対戦に耐えうる体力と精神力が求められる厳しい競技です。また、気品ある振る舞いも必要で、選手たちは日々厳しい稽古に取り組んで、技術だけでなく、人間性も磨いています。

かるたの夏の全国大会は、かるたの聖地として有名な滋賀県大津市の近江神宮での高校選手権大会と全国高校総文の2つがあります。昨年度は、小野田高校が全国高校選手権の代表校として健闘しました。

かるたに向き合っている選手の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来のかるた名人・クイーンが育つことを期待しています。



〔新聞〕

新聞専門部は2028年の全国高校総文山口大会の開催内定を受け、昨年度新設されました。現在、山口県には新聞部のある学校が25校。これを機に、山口県の新聞部の活性化につなげていければと思います。また、新聞作りは、地域や身の回りの社会問題について知り、それに関わる人々の思いに触れ、自分自身との関わりに気付く契機となります。その魅力を発信できるよう取り組んでいきます。

全国高校総文では、参加校が日頃発行している学校新聞が展示され、「年間紙面審査」入賞校の表彰が行われます。また、開催県の歴史や文化、自然などについて実際に現地に行き取材し、交流新聞を作成します。全国には精力的に取材活動を行っている新聞部が数多くあり、全国の新聞部員との交流は互いにより刺激を受ける場となっています。早速、今年度の全国高校総文には、防府商工高校と下関工科高校の2校が参加します！

〔文芸〕

文芸専門部では、小説・詩・短歌・俳句・イラストなど、自分の得意分野で創作をしたものを、各校それぞれ自由な体裁で文芸誌にするという活動をしています。対外的には山口県文芸コンクール、中国文芸コンクール、全国文芸コンクールと自分の力を試す機会もたくさんあります。山口県コンクールの各部門の上位入賞者は、次年度の全国総合文化祭や中国文芸道場に推薦されて参加しています。そこでは各地から選ばれた生徒たちと交流する機会があり、参加者した生徒さんたちは、フレッシュな刺激を受けることができるので、さらに創作意欲が湧くと大変好評です。そのほか、夏井いつきさんがかかわっている俳句甲子園にも毎年参加しています。

みなさんも一緒に創作活動をしてみませんか。



〔自然科学〕

自然科学部門は、平成23年6月に山口県高文連15番目の専門部として誕生しました。私たちの部門の目的は、それぞれの高校で日頃から地道に研究している自然科学分野の成果を全国で発表する場を提供し、研究を発展させることです。

昨年の全総文祭「ぎふ総文2024」には、山口高校・下関西高校・宇部高校が研究発表で、徳山高校がポスター発表で参加しました。入賞は逃しましたが、どの学校の生徒も主体的に研究に取り組み、工夫した発表ができていました。今年は、香川県で行われる全総文祭に、県内審査会で選ばれた高川学園高校・徳山高校・宇部高校・下関西高校が参加する予定です。出場校のみなさんの全国での活躍を大いに期待しています。



第47回 山口県高等学校総合文化祭
音楽4部門発表会
第74回 山口県高等学校連合音楽会

器楽・管弦楽 合唱 吹奏楽
マーチングバンド・バトントワリング

プログラム



期 日	令和7年6月13日（金）～6月14日（土）
会 場	下関市民会館
主 催	山口県・山口県教育委員会 山口県高等学校文化連盟
共 催	下関市・下関市教育委員会
後 援	山口県中学校文化連盟
主 管 校	山口県立豊浦高等学校

あいさつ



山口県高等学校文化連盟
吹奏楽専門部
会 長 縄 田 功
(山口県立宇部高等学校長)

第47回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会兼第74回山口県高等学校連合音楽会が、「未来へつなぐ創造の輪 ～私たちの文化が輝く瞬間～」のテーマのもと、ここ下関市民会館において、盛大に開催されますことを大変うれしく思います。

また、発表される皆さんが、これまでひたむきに音楽と向き合い、努力を積み重ねてこられたことに対し、心から敬意を表します。

さて、生成AIの開発が飛躍的に進み、人間がコンピュータにイメージを入力するだけで、それに合った音楽や動画を短時間で、いとも簡単に生成できるようになっている今日において、テーマにある「創造」とは何かが問われているように思います。生成AIはプログラムされた機械言動で動作しており、感情はありません。一方、人間には豊かな感性・感情があります。人間がもつ感性や感情を発揮し創り出されたものを大事にしたいですし、本日の発表会のようなリアルな体験を通して人間性を育みたいものです。

本日の発表会は、皆さんが互いに刺激し合い、成長する場でもあります。音楽を通じて培われる豊かな心や表現力は、将来において大きな財産となることでしょう。また、御観覧の皆様方にとっても、高校生の一生懸命な姿や美しい音楽に触れることで、心温まるひとときを過ごしていただけることと思います。

高校生の創造性と情熱が、音楽を通じて表現される瞬間は、まさに私たちの文化が輝く瞬間です。発表を通じて、未来へつなぐ創造の輪が広がり、私たちの文化がさらに豊かになることを願っています。

結びに、本大会を開催するにあたり御尽力をいただきました、主管校の山口県立豊浦高等学校をはじめ、下関地区の関係各校に感謝を申し上げますとともに、多大な御支援を賜りました、山口県、山口県教育委員会、下関市、下関市教育委員会に厚くお礼を申し上げ、御挨拶といたします。

日 程

第1日 6月13日(金)

発 表 (9:30～16:35)

吹奏楽 器楽・管弦楽 合唱 マーチングバンド・バトントワリング

大会式 (16:20～16:25)

あいさつ 吹奏楽専門部 会長 縄田 功(山口県立宇部高等学校長)

第2日 6月14日(土)

発 表 (9:30～16:20)

吹奏楽 器楽・管弦楽 合唱 マーチングバンド・バトントワリング

音楽4部門発表会出演順 ～6月13日(金) 前半～

順番	形態	学校名 (人数) ・ 演技、演奏曲	指揮者 伴奏者 作詞者 作曲者 編曲者
1	管弦楽	下関南高等学校 (25名) ・ アルジェのイタリア女序曲	指揮 吉永 暁子 作曲 J. ロッシーニ
2	吹奏楽	下関北高等学校 (16名) ・ 三日月のシャンソン	指揮 宮本 泰 作曲 福田 洋介
3	吹奏楽	慶進高等学校 (18名) ・ エンジェル・オブ・バトルフィールド〜クララ・パートンに捧ぐ〜	指揮 福光 恒星 作曲 樽屋 雅徳
4	吹奏楽	徳山商工高等学校 (21名) ・ グラヴィテーション・ウェーブ	指揮 山近 純一 作曲 石川 健人
5	弦楽合奏	柳井高等学校 (26名) ・ 弦楽セレナーデ ホ長調 作品22 I・IV・V楽章	指揮 宮本 敬司 作曲 A. ドヴォルザーク
6	吹奏楽	大津緑洋高等学校 (28名) ・ Absalon	指揮 岡本 美和 作曲 Bert Appermont
7	吹奏楽	防府商工高等学校 (41名) ・ 聖エルモの火〜ウインドオーケストラのために	指揮 石川 真也 作曲 片岡 寛晶
8	合唱	岩国高等学校 (3名) ・ 夕焼け ・ 僕のこと	伴奏 茶川 保子 作詞 高階 紀一 作曲 信長 貴富 作詞 大森 元貴 作曲 大森 元貴 編曲 りんご
9	合唱	宇部中央高等学校 (9名) ・ 混声合唱組曲『そのあと』より IV. 花と画家 ・ ひまわりの約束	指揮 野見山結衣 伴奏 野見山結衣 作詞 谷川俊太郎 作曲 上田 真樹 作詞 秦 基博 作曲 秦 基博 編曲 田中 和音
10	合唱	慶進高等学校 (13名) ・ 花がほほえむ ・ すずめ	指揮 榎山 朋子 伴奏 藤井亜希子 作詞 宮下 奈都 作曲 三宅 悠太 作詞 野田洋次郎 作曲 野田洋次郎 編曲 西條 太貴
11	合唱	萩高等学校 (24名) ・ 不思議 ・ みんながみんな英雄	指揮 久野 沙輝 伴奏 卯城 綾埜 作詞 金子みすゞ 作曲 石若 雅弥 作詞 篠原 誠 アメリカ民謡 編曲 高瀬 藍
12	パトントワリング	慶進中学校・高等学校 (23名) ・ How Far I'll go ・ Beyond	作詞 Lin-Manuel Miranda 作曲 Lin-Manuel Miranda 作詞 Lin-Manuel Miranda 作曲 Lin-Manuel Miranda
13	パトントワリング	徳山商工高等学校 (1名) ・ 僕のこと	作詞 大森 元貴 作曲 大森 元貴
14	マーチング	山口県鴻城高等学校 (17名) ・ 銀河と迷路 ・ ルパン三世'78	作曲 Nargo 作曲 大野 雄二

～ 昼休み ～

(1 2 : 1 4 ～ 1 3 : 0 0)

音楽4部門発表会出演順 ～6月13日(金) 後半～

順番	形態	学校名 (人数) ・ 演技、演奏曲	指揮者 伴奏者 作詞者 作曲者 編曲者
15	管弦楽	下関中等教育学校 (45名) ・ 歌劇「ザンパ」序曲	指揮 西 将史 作曲 F.エロルド
16	マンドリン合奏	岩国高等学校 (11名) ・ 天体観測 ・ アイラブユー	作曲 藤原 基央 作曲 清水依与吏 編曲 森本 和幸
17	吹奏楽	周防大島高等学校 (5名) ・ The Sound of Music	指揮 岩本かおり 作曲 R.Rodgers&O.Hammerstain II 編曲 P.K.Schaars
18	吹奏楽	下関工科高等学校 (14名) ・ 「西遊記」～天竺への道	指揮 志道 博資 作曲 広瀬 勇人
19	吹奏楽	熊毛南高等学校 (16名) ・ ゾウの足～1986.4.26 チェルノブイリ原子力発電所事故による～	指揮 廣野 太一 作曲 林 大地
20	吹奏楽	田布施農工高等学校 (17名) ・ 廻る天輪～英雄ロスタムと悲劇のソフラーブ	指揮 武安 敏之 作曲 片岡 寛晶
21	吹奏楽	晃英館中学校・山口県桜ヶ丘高等学校 (23名) ・ サルタン皇帝より「3つの奇蹟」	指揮 桐生 智晃 作曲 リムスキー＝コルサコフ 編曲 藤田 玄播
22	吹奏楽	柳井高等学校 (25名) ・ ルイ・ブルジョアの讃美歌による変奏曲	指揮 内田 峻輔 作曲 C.T.スミス
23	吹奏楽	岩国総合高等学校 (25名) ・ ある女の生涯 ～能「巴」の物語によるファンタジー	指揮 小松 秀之 作曲 松下 倫士
24	吹奏楽	宇部鴻城高等学校 (34名) ・ BU-GA-KU	指揮 松田 廉遵 作曲 福田 洋介
25	吹奏楽	長府高等学校 (33名) ・ 大いなる約束の大地～チングス・ハーン	指揮 井ノ上拓郎 作曲 鈴木 英史
26	吹奏楽	下松高等学校 (39名) ・ ラ・ムジカ・デッラマービレ・アマビエーラ～ウインド・アンサンブルのために～	指揮 梅本 純子 作曲 片岡 寛晶
27	吹奏楽	宇部フロンティア大学付属香川高等学校附属中学校 (38名) ・ Jalan-jalan～神々の島の幻影～	指揮 阿野恵理子 作曲 高橋 伸哉
28	吹奏楽	徳山高等学校 (52名) ・ 竹取物語より	指揮 杉山 潤 作曲 三善 晃 編曲 天野 正道
29	吹奏楽	岩国高等学校 (43名) ・ 蒼き三日月の夜	指揮 佐々木真一 作曲 樽屋 雅徳
30	吹奏楽	宇部高等学校 (48名) ・ ラ・ムジカ・デッラマービレ・アマビエーラ～ウインド・アンサンブルのために～	指揮 中村 亮 作曲 片岡 寛晶
31	吹奏楽	豊浦高等学校 (46名) ・ 竹取物語より	指揮 檜原 弘 作曲 三善 晃 編曲 天野 正道

～ 大 会 式 ～
～ 全 員 合 唱 ～

音楽4部門発表会出演順 ～6月14日(土) 前半～

順番	形態	学校名 (人数)・演技、演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者
32	吹奏楽	熊毛北高等学校 (2名)		伴奏 福田 望			
		・ カーロ・ミーオ・ベーン	作曲 ジョルダニー				
		・ ソナタより	作曲 ヘンデル				
		・ オーメンズ・オブ・ラブ	作曲 和泉 宏隆				
33	吹奏楽	高川学園中学校・高等学校 (8名)	指揮 三河内雄基				
		・ Ashland Park	作曲 Ed Huckleby				
34	吹奏楽	山口農業高等学校 (10名)	指揮 藤田 悠華				
		・ 天の剣	作曲 福田 洋介				
35	吹奏楽	美祢青嶺高等学校 (11名)	指揮 山中 咲希				
		・ いつも風 巡り会う空	作曲 福島 弘和				
36	吹奏楽	聖光高等学校 (11名)	指揮 河本 昌弘				
		・ 明日へ吹く風	作曲 和田 直也				
37	吹奏楽	華陵高等学校 (14名)	指揮 即席 湖文				
		・ カムイ～大地に宿る神秘	作曲 江原 大介				
38	吹奏楽	山口中村学園高等学校 (23名)	指揮 岸 美砂子				
		・ ちはやふる	作曲 樽屋 雅徳				
39	吹奏楽	西京高等学校 (29名)	指揮 福岡恵美奈				
		・ 歌劇「トゥーランドット」より	作曲 Giacomo Puccini 編曲 後藤 洋				
40	吹奏楽	新南陽高等学校 (35名)	指揮 奥中 淳夫				
		・ 吹奏楽のためのカプリス (2005年改訂版)	作曲 保科 洋				
41	吹奏楽	光高等学校 (33名)	指揮 島田 敏幸				
		・ 生命のアマナ～ウインド・アンサンブルのために～	作曲 片岡 寛晶				
42	吹奏楽	萩高等学校 (38名)	指揮 南 伸一				
		・ ガルーダの翼	作曲 広瀬 勇人				
43	合唱	山口高等学校 (25名)	指揮 丸山 航	伴奏 薬師 智子			
		・ そのひとがうたうとき	作詞 谷川俊太郎 作曲 松下 耕				
44	合唱	防府高等学校 (20名)	指揮 福田 亮	伴奏 脇 日奈子			
		・ かつて私は信じていた (「世界恋愛詩集」から)	作詞 菅原 敏 作曲 平木 悟				
		・ 女声合唱曲集《うたを うたう とき》より〈春〉	作詞 新川 和江 作曲 信長 貴富				
45	合唱	山口中央高等学校 (16名)	指揮 上田 憲明	伴奏 大持 美星			
		・ デイ・ドリーム・ビリーバー	作詞 John Stewart 日本語詞 ZERRY 作曲 John Stewart 編曲 田中 和音				
		・ 他					

～ 昼休み ～
(1 2 : 1 4 ～ 1 3 : 0 0)

音楽4部門発表会出演順 ～6月14日(土) 後半～

順番	形態	学校名（人数）・演技、演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者
46	管弦楽	山口高等学校 (85名)	指揮 丸山 航				
	・	交響曲第1番変イ長調 第3, 4楽章より	作曲 E.エルガー				
47	管弦楽	防府高等学校 (60名)	指揮 福田 亮				
	・	組曲「展覧会の絵」より	作曲 M.ムソルグスキー				
48	管弦楽	山口中央高等学校 (21名)	指揮 上田 憲明				
	・	「小組曲」より	作曲 C.ドビュッシー				
49	吹奏楽	宇部商業高等学校 (10名)	指揮 佐々木 明				
	・	「トトロ」ファンタジーより(さんぽ・まいご・となりのトトロ)	作曲 久石 譲 編曲 小島 里美				
	・	O L A ! !	作曲 北川 悠仁 編曲 西條 太貴				
50	吹奏楽	萩光塩学院中学校・高等学校 (12名)	指揮 米本 次郎				
	・	一閃の舞	作曲 福田 洋介				
51	吹奏楽	柳井学園高等学校 (17名)	指揮 相本 武利				
	・	Impressions	作曲 John Coltrane 編曲 Mike Tomaro				
	・	ルパン三世のテーマ ～2011 Action Version～	作曲 大野 雄二 編曲 赤塚 謙一				
52	吹奏楽	下関商業高等学校 (10名)	指揮 岡本 哲				
	・	ベスト・ソングス・コレクション2024	作曲 大森 元貴 他 編曲 本澤なおゆき				
	・	まちがいさがし	作曲 米津 玄師 編曲 郷間 幹男				
53	吹奏楽	岩国商業高等学校 (19名)	指揮 国広 昌男				
	・	オフィーリアの悲しみ	作曲 松下 倫士				
54	吹奏楽	高森高等学校・高森みどり中学校 (22名)	指揮 白石健一郎				
	・	哀歌～「佐渡情話」の物語によるバラード	作曲 松下 倫士				
55	吹奏楽	萩商工高等学校 (27名)	指揮 黒川 祥				
	・	喜歌劇「チャルダッシュの女王」セレクション【小編成版】	作曲 E.カールマン 編曲 鈴木 英史				
56	吹奏楽	小野田高等学校 (32名)	指揮 高田 健吾				
	・	時の風に舞うドラゴン	作曲 Larry Neeck				
57	吹奏楽	山口高等学校 (37名)	指揮 丸山 航				
	・	秘儀IV〈行進〉	作曲 西村 朗 編曲 福本信太郎				
58	吹奏楽	防府高等学校 (60名)	指揮 福田 亮				
	・	吹奏楽のための風景詩「陽が昇るとき」	作曲 高 昌帥				
59	吹奏楽	防府西高等学校 (69名)	指揮 藤田 隆行				
	・	彩をえがく鳥	作曲 芳賀 傑				
60	吹奏楽	下関西高等学校 (75名)	指揮 飯田 幸生				
	・	Danzón no.2	作曲 Arturo Márquez 編曲 Oliver Nickel				
61	吹奏楽	早鞆高等学校 (56名)	指揮 松井 友介				
	・	舞い上がれ、悠久の空へ	作曲 和田 直也				

～ 全 員 合 唱 ～

翼をください

ソプラノ
アルト

テノール
バス

$\text{♩} = 60$ Calm

1 $\text{♩} = 88 \sim 92$

mp

9

3

い ま - わ た し の ね が - い ご と
い ま - と み と か め い よ - な ら -

が か な う な い ら ば つ ば さ が ほ し い
ば い な ら な い け ど つ ば さ が ほ し い

2

mp Ah -

mp Ah -

mf

こ の - せ な か に と り - の よ う に し
こ ど - も の と き ゆ め - み た こ と い

mf

ろ い つ ば さ じ つ け て く み だ て さ い
ま も お な さ じ つ け て く み だ て さ い

3 *Energico*

f

い る この おおぞらに - つばさをひろげ - とんでゆきたい
い る この おおぞらに - つばさをひろげ - とんでゆきたい

piu f to Φ

よ — かな しみのない — じゅ うな そら へ — つば さ は た め か

よ — かな しみのない — じゅ うな そら へ — つば さ は た め か

4 *rit.* 5

せ ゆ き た い

せ — ゆ き た い

Φ Coda *rit.* *mp* *mf p* *mf p* *mf p* *mf p* *p*

せ ゆ き た い uh Ah uh uh

せ — ゆ き た い uh uh uh

翼をください

いま私の願いごとが

かなうならば 翼がほしい

この背中に 鳥のように

白い翼 つけて下さい

この大空に 翼をひろげ

飛んで行きたいよ

悲しみのない 自由な空へ

翼はためかせ 行きたい

いま富とか名誉ならば

いらないけど 翼がほしい

子どもの時 夢見たこと

今も同じ 夢に見ている

この大空に 翼をひろげ

飛んで行きたいよ

悲しみのない 自由な空へ

翼はためかせ 行きたい

